

耐動荷重性

■移動物の重量や使用頻度に応じた床材選びが大切です。

ストレッチャーや配膳車などキャスター付き機器の移動が頻繁に行われる場所では、移動物の重量に加えて、キャスターのねじりの力が床材表面に過酷な負荷となって働き、膨れや破れを発生させることがあります。

特に医療・福祉施設や工場・倉庫等では、このような負荷に対する耐性に優れた床材と接着剤の選定が必要とされます。

■試験方法…JIS A 1454 高分子系張床材試験方法「耐キャスター性試験A法」

【荷重】：2000N±10N(約200kgf)

【キャスターの大きさ】：φ110±3mm・巾50±1mm

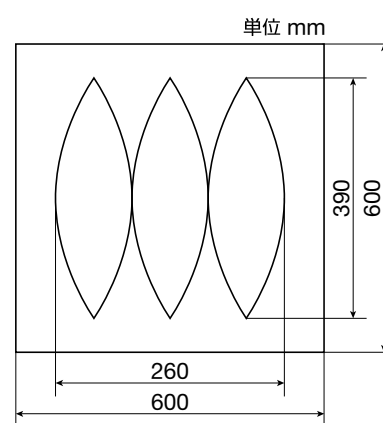
【速度(回転数)】：7±0.4rpm(420回転/h)

【接着剤】：EP-300

上記条件で5時間を上限として膨れが発生するまでの時間、回転数を測定した。



キャスター試験機



キャスターの軌道

■耐動荷重性試験結果

商品名	膨れが発生するまでの時間	膨れが発生するまでの回転数					膨れた箇所
		0	500	1,000	1,500	2,000	
ナーシングフロア(2.0mm)	5.0h以上						膨れなし
ストロング(2.0mm)	5.0h						寒冷紗と塩ビシートの間
SKフロア(2.8mm)	3.5h						発泡シート層
メディウォーク(4.5mm)	5.0h以上						膨れなし
グラニット(2.0mm)	5.0h以上						膨れなし
オデオンPUR(2.0mm)	5.0h以上						膨れなし
メガリット(2.0mm)	5.0h以上						膨れなし
エスリューム・マーブル(2.0mm)	3.5h						寒冷紗と塩ビシートの間
耐薬品性+耐動荷重エスリューム(2.0mm)	4.0h						寒冷紗と塩ビシートの間

※上記の値は測定値であり、保証値ではありません。

■数値の判断基準は？

膨れが発生するまでの時間・回転数が多いほど、耐動荷重性の高い床材と言えます。